

子ども支援だより

コロナの影響で長期休校となっていました，いよいよ21日から学校がスタートします。保護者をはじめ，自宅で静かに過ごしている児童の皆さんも待ちわびていることでしょう。子ども支援だよりでは，「学習面が気になる」「友だちとの関わりはうまくできているかな」「落ち着きがないけど大丈夫かな」など，お子さんの気になることや困り感について，お知らせや相談の方法などを，保護者の皆様へお伝えしていきます。

お子さんの「気になること」は ありませんか？

「学習面や行動面での困り感」

まじめに努力しているのに思うように成績が伸びない。

集中して取り組むことが苦手である。

単純なミスが多く作業が雑である。

自分の考えや思いを，上手く相手に伝えられない。

衝動的な行動が多い。

忘れ物が多く，注意も持続しにくい。

不器用で運動が苦手である。動作もぎこちない。

冗談が通じにくく友だちや周りの人と，よくトラブルになる。

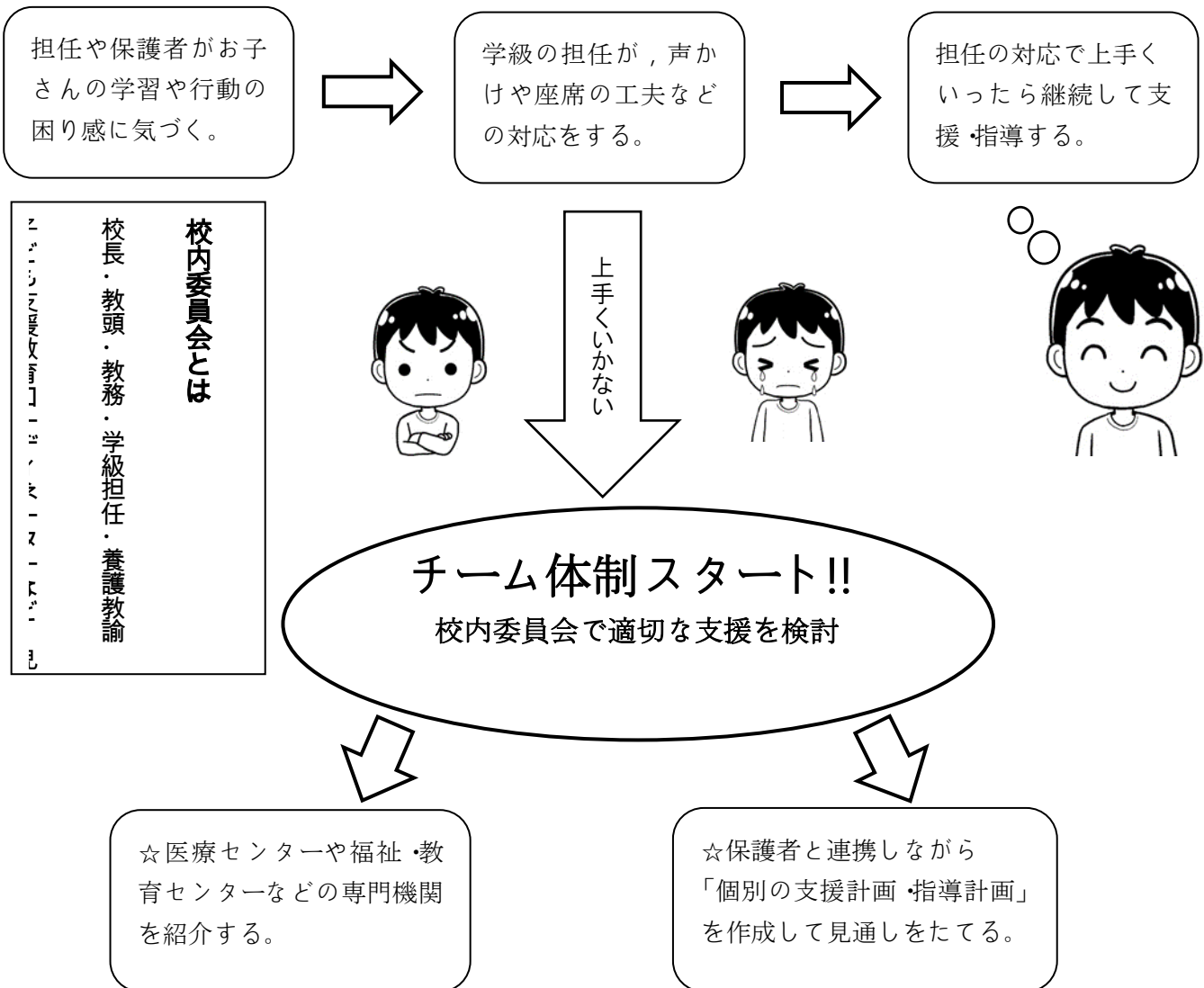
※上記のことで気になることがあれば，担任や子ども支援コーディネーターへお気軽にご相談ください。

発音にあやまりがあったり，どもる等上手く話せない。

子ども支援教育コーディネーターとは・・・

- ①上記のような困り感のある児童の保護者の相談窓口
- ②関係機関との連絡調整等を担う教員のことです。

南原小学校の子ども支援体制



①特別支援ヘルパーの活用

今年度は、2名の特別支援ヘルパーが配置されています。

昨年教育委員会に申請した、19名の児童を支援していきます。(今年度ヘルパー申請12月1月予定)

※ヘルパーの支援内容：日常生活の介助・健康安全の確保・学習活動・行事等の支援・校外学習等の児童の安全確認

②特別支援学級での学習

特別支援学級では、主に国語・算数・自立活動・生活単元を中心に学習します。

他の時間は協働学級のみなどと一緒に学習します。

③教育相談の活用

本校には、うるま市教育相談所・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー(計3名)の専門相談委員がいます。

※相談内容に応じて担当の相談員へお繋ぎいたします。

※大切なことは、身近な大人が気づき、適切な支援を行うことです。気になったら一人で悩まず、担任や学校の担当者に相談してください。(相談窓口担当 子ども支援コーディネーター)